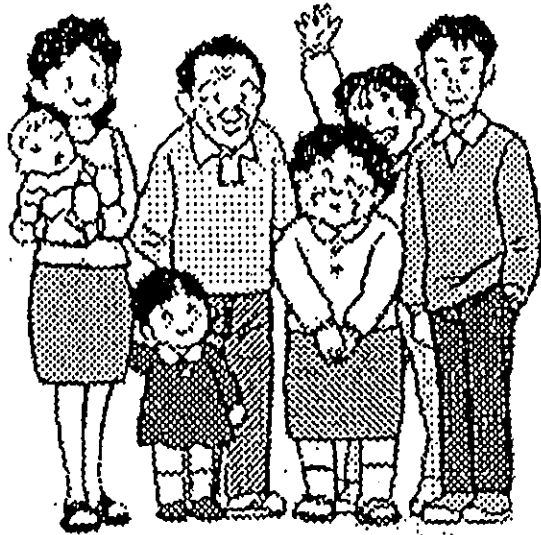


地域の元気推進事業

山代町元氣なまちづくりプラン



平成26年3月

山代町元氣なまちづくり運営協議会

●まちづくり計画の基本構想

◎地域力・・地域がにぎわうまちづくり

- 公民館活動部会
「住む人の笑顔が集まる公民館」で心のふれあうまちづくり
- 地域活性化部会
「伊万里湾の利活用と企業との連携」で活力あるまちづくり

◎ 元気力・・明るく元気なまちづくり

- 体育・スポーツ部会
「スポーツを通して」明るい元気なまちづくり
- 青少年育成部会
「山代っ子が元気に」すくすく育つまちづくり

◎住民力・・住民パワーで安全安心のまちづくり

- 健康・福祉部会
「みんなで支え合う」健康と福祉のまちづくり
- 安全・安心環境部会
「自然環境を生かした創意と工夫」の安全と安心のまちづくり

山代町の概要

1. 概要

山代町は、伊万里市の西端に位置し、東は伊万里湾を隔てて牧島黒川町に対し、南から西は東山代町、北西は長崎県今福町に接し、北は海を隔てて長崎県福島町に対してしている。東に伊万里湾、西に国見山系からのびた西ノ獄連山がひかえる風光明媚な自然の美しい町である。

「山代」の呼称は、平安時代の末に松浦党の二代目源直が、「山ノ寺」をひらき、里に館を構えたときからと伝えられています。江戸時代には「山代郷」と呼ばれていました。山代郷は、郡区町村編成法施行により明治12年(1879)に西松浦郡に属することになり、明治22年(1889)に「東山代村」と「西山代村」に分かれ、さらに昭和11年(1936)に町制を敷き「山代町」となりました。昭和29年(1954)には、町村合併で伊万里市山代町となりました。

町内には、松浦佐代姫にちなんだ伝説や、松浦党の山代氏に関係のある地名や遺跡が多く残っています。江戸時代になると、佐賀藩と小城藩の御船屋が設けられ、久原には、小城藩の目代屋敷や番所が設けられました。江戸時代の後期から昭和にかけて、町内各所に炭鉱が開かれ、戦時中は川南造船所がありました。

現在は、久原工業団地に合板会社や電気制御盤関連会社、伊万里団地には魚類加工業や食品総合業、住宅構造材総合業が進出し雇用の場の拡大に繋がっています。最近では、SUMCOや中国木材等企业誘致が相次ぎ事業の拡張、新規事業など新たな設備投資により企業への就職活動も活発化しており地元としても大きな期待を寄せております。

さらに伊万里湾大橋の開通は都市間交流の活性化による地域産業の振興を図ります。また現在測量や用地確保、住民説明会が着々と進んでいる西九州自動車道の早期実現は企業誘致と共に人・物・情報の交流により生産拠点としての活性化が図られ、未来への発展に繋がるものと大きな希望を抱いております。

今後伊万里湾の利活用と共に浦之崎川南造船所跡地問題の解決策として浦之崎失効地の緑地化や平和遺産ゾーン・スポーツ広場・展望施設等の未来構想の青写真が出来ております。浦之崎地区は将来的には天然の良港としての発展の可能性が高い地域であり、今後産業用地としての企業誘致が期待されております。

1、山代町の今ある姿

①人口・世帯数 (平成25年11月30日現在)

・人口 5,360人(男2,558人・女2,802人)

・世帯数 2,316世帯

②少子率 12.50%

③高齢化率 33.71%

行政区別人口統計表(2013/11/30現在)

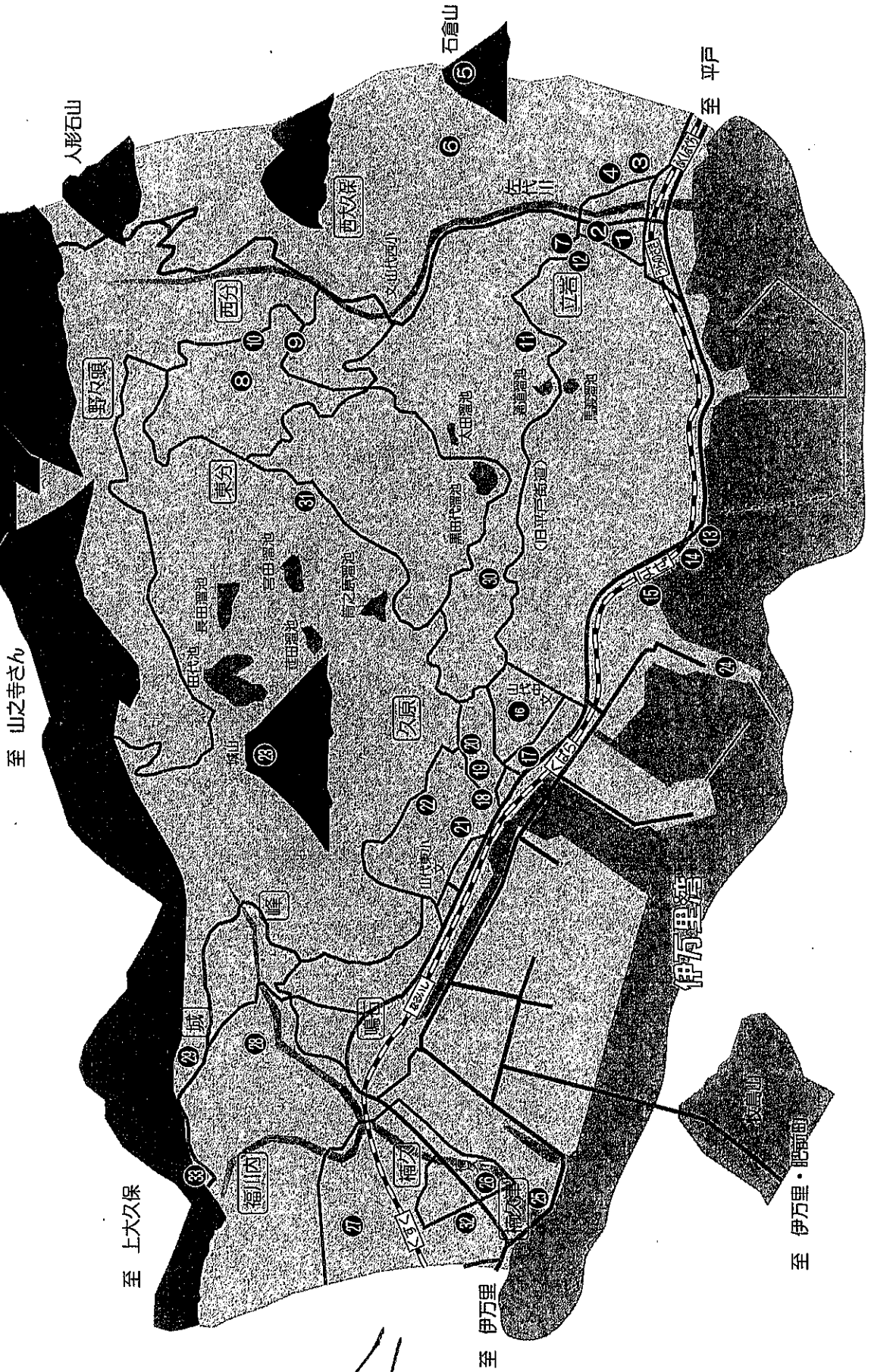
地区名	行政区名	男	女	計	世帯数
山代町	楠久津	269	307	576	263
山代町	楠久	451	474	925	390
山代町	福川内	56	67	123	52
山代町	城	78	87	165	64
山代町	峰	55	51	106	47
山代町	鳴石	132	166	298	139
山代町	久原一区	248	251	499	199
山代町	久原二区	364	411	775	337
山代町	久原三区	122	137	259	113
山代町	浦之崎	170	192	362	167
山代町	川南	112	141	253	128
山代町	立岩	120	122	242	94
山代町	向山	104	128	232	128
山代町	西分	131	122	253	88
山代町	西大久保	40	40	80	33
山代町	野々頭	44	42	86	28
山代町	東分	62	64	126	46
山代町計		2,558	2,802	5,360	2,316

(17行政区 ・ 21自治公民館)

行政区	自治公民館	行政区	自治公民館
1. 楠久津	1. 楠久津	9. 久原三区	13. 波瀬
2. 楠久	2. 楠久	10. 浦之崎	14. 浦之崎
3. 福川内	3. 福川内	11. 川南	15. 川南
4. 城	4. 城	12. 立岩	16. 立岩
5. 峰	5. 峰	13. 向山	17. 向山
6. 鳴石	6. 鳴石	14. 西分	18. 西分
7. 久原一区	7. 原	15. 西大久保	19. 西大久保
	8. 高田	16. 野々頭	20. 野々頭
	9. 堀田	17. 東分	21. 東分
8. 久原二区	10. 上揚		
	11. 下揚		
	12. 布蘭		

3

山代ふるさとマップ



No.	名称
1	佐代姫塚
2	佐代姫神社
3	浦之崎番所跡
4	狹神社
5	石倉山
6	立岩洞窟
7	祇園神社
8	楯儀石
9	仁王尊(天福寺)
10	黒髪神社
11	内園屋敷跡
12	山本源三碑
13	波瀬番所跡
14	イルカの碑(種が島)
15	蔵島神社
16	大日如来
17	祇園社
18	飯盛神社
19	天神社
20	花房権現
21	八幡神社
22	モリス炭坑跡
23	飯盛城跡(金比羅坊)
24	小島古墳
25	桶久番所跡
26	御船屋
27	仏積寺
28	霧奇神社
29	黒沙門さん
30	御手洗地蔵
31	波多三河守遷葬墓
32	千拓記念碑
33	善宗寺跡

山代町元気なまちづくりプラン策定にあたって

このプランは山代町民に対するアンケート調査や事業部会・計画委員会・まちづくり運営委員会などによる話し合いの結果を踏まえ、みんなでつくりあげた山代町の将来のビジョンです。

この将来ビジョンは、山代町の現状と課題を踏まえ山代町の将来像を明らかにした上で、その将来像を実現するために、自分達のまちは自分達で知恵を出し汗し創り・自分達の地域で何が出来るかを考え・地域課題は地域で自分達で解決する仕組みをつくることを基本において計画を整理したものです。

父なる国見山地と母なる伊万里湾に抱かれ先人たちのたゆまぬ努力によって発展してきた山代町の豊かな自然、歴史と文化、人と人とのつながりを大切にして、これらを未来の子ども達につなげていこうという強い思いがこもっています。

「山代町民憲章」の精神をもって、今後はこのプランに沿って町民が「地域力」・「元気力」・「住民力」の3つの力を結集し、地域住民の一人でも多くの参加をお願いしながら「山代町の元気なまちづくり」を目指していきます。

◎まちづくり とは。～まちづくりは人づくりである。

- ①まずは、地域全体で実現可能な夢や希望を共有することが大切である。
- ②地域の活性化は、住民自らの意識と行動にかかっている。
- ③活動を始めれば、そこに暮らしている人たちに安心感や楽しみや生きがい
が生まれ「町が・村が」動いていると感じるようになる。

●まちづくりは・・・ネットワークとフットワークとチームワークが
大切である。

- ・ネットワークとは、住民が情報を発信し情報を共有することである。
- ・フットワークとは、住民自らが行動を起こすことである。
- ・チームワークとは、住民が心をひとつにしてまちづくりに
取り組むことである。

●まちづくりの視点

- (1) 山代町は今どんな時代を迎えようとしているのか。
- (2) 地域の課題やコンセプト（視点や考え方）は何があるのか。
- (3) 山代町の魅力や自慢できるものは何があるのか。
- (4) まちづくりの計画や企画は何ができるのか。
- (5) 子ども達に将来夢を与えることができるのか。

●山代町の抱える主要課題（山代町元気なまちづくり計画）

町民アンケート調査をはじめ、各事業部会及び計画委員会・運営委員会などの意見を基本に、現在山代町が抱える課題を次の7つに整理しました。

現在、山代町元気なまちづくり運営協議会における取り組みや課題について検討を進める必要がある。

○課題 1

健康や老後の生活に対する不安を持つ住民が多く対策が必要になっている。

- ・山代町は、少子、高齢化を迎えている。
- ・少子率 12,50% ・高齢化率 33,71% ・市内でも非常に高い
- ・山代町敬老会該当者（77歳以上）874人（男、274名・女、600名）
- ・山代町は、健康で長寿の町です。

〔老人力〕高齢者自身の豊かな経験やさまざまな能力を活かせる、

〔場〕の提供や、人生の先輩であるという視点で高齢者の方と接することが望まれる。高齢者はまちづくりの人材である・

- ・高齢者や一人暮らしの高齢者・ふれあい・いきいきサロンの開設

○課題 2

子どもが少なくなっている中で、子ども達の活動の場や子育ての環境を良くするための取り組みが必要になっている。

- ・〔地域の子どもは、地域で育てる〕をスローガンに、青少年の健全育成に取り組んでいる。
- ・〔山東チャレンジひろば〕の取り組み
- 山代町青少年健全育成大会（7月6日（日）・山代中学校）の開催
 - ・「先輩からのメッセージ」～夢と希望に挑戦しよう～
- ・〔家読〕への取り組み ・ 絵本の読み聞かせの取り組み
- ・子育て支援事業の取り組み
 - 町内保育園（楠久・鳴石・久原・さくら保育園）との連携

○課題 3

山代町の恵まれた豊かな自然を更に地域活性化に活かす取り組みが求められている。

山代町の伝統・文化・イベント等を継承し更に地域活性化に活かす取り組みが求められている。

- ・各地区（楠久津、楠久、久原、浦之崎）の浮立・各地区の夏祭り、飯盛会、久原フェスタ、桜の駅まつり等の活性化について検討する。
- ・山代町は山や海があり自然に恵まれ、伝統・文化やイベントも沢山あり子ども達は自分たちが住んでいる山代町が大変好きだとアンケートで答えている。

○課題 4

安全・安心・環境に対する不安感も高くなっている。

- ・地域安全パトロール隊の充実を図る。・交通安全キャンペーン実施
- ・山代町の防災、防犯マップの作成
- ・山代町塩生植物保存会は、佐賀県環境課及び伊万里市教育委員会の表彰を受けている。県の補助金の活用を検討する。
- ・山代町内塩生植物の保存活動・啓発・観察会等の計画
- ・泥だんご大作戦の継続・環境への意識の向上

○課題 5

社会状況の変化などによる各組織の会員減少や役員への負担増などで体制の在り方が問われている。

- ・長寿会や婦人会の会員の減少等その対策について、今後検討を進める必要がある。特に、婦人会（部）の組織については今後具体的に検討を進める必要がある。

○課題 6

- まちづくりは人づくりである
まちづくりのリーダーの発掘と育成及び地域の伝統芸能などの伝承や後継者の育成が求められている。
- スポーツ少年団等ジュニアスポーツ指導者の養成・育成が必要である。
- まちづくりのリーダーを育成する研修会の開催。

○課題 7

伊万里湾の利活用と浦之崎地区公園整備事業・浦之崎開発エリアの開発と共に地域の活性化を図ることが必要になっている。

- 伊万里港浦之崎地区の川南造船所部品工場跡地の活用及び建物解体後の利活用の検討・伊万里市・佐賀県との連絡調整
- 天然の良港である伊万里湾の活用、特に浦之崎港の廃棄物処理用地を産業用地として確保し水深18mを生かし、将来的には企業誘致やコンテナ・ターミナル等としての活用を検討。
- 住民の要望として、川南造船所部品工場跡地に今後、コミュニティセンターや石炭等の資料館・「道の駅」・パークゴルフ場の設置等の意見がある。
- 西九州自動車道の伊万里松浦道路（山代IC～県境）の供用開始（平成27年3月）と共に西九州自動車道との連携を図り、今後の浦之崎開発エリアの企業誘致や観光産業の誘致等の活性化について検討が必要である。

○今の時代に求められているのは、地域の価値に気づき、その地域に根ざした活動を展開することではないでしょうか。

それが地域を復興させ、お年寄りを元気づけ、若者が定住し、若者を呼び戻す切り札になるはずです。

◎まちづくり計画のこれからの進め方

山代町元気なまちづくりの基本計画を具体化し将来構想を実現するためには、平成25年度までの事業計画を検証し、各事業部会を中心に事業計画を立て、平成26年度からの基本計画を整理する必要があります。

また、具体的な事業計画を立てるに当たっては、町民アンケートの結果や事業部会・計画委員会・運営委員会等の話し合いを踏まえながら「どのようなイベントにしていってよいか」・「どのような活動をしていってよいか」・

「どのような場づくりをしていってよいか」といった視点で既存事業の充実を図るもの、見直しを行うもの、新たに取り組むものなど各事業部会での十分な検討が必要です。

そこで基本構想であげたテーマに沿った実施計画を計画策定委員会で検討し策定します。また山代町の将来像の実現に向け住民の意識を高めるために、広報活動や住民への説明会等でまちづくり計画の啓発に努めます。

さらに、基本計画を効果的に実践していくには行政との協働が欠かせません。伊万里市の「地域の元気推進係」との連携を密にして、情報を共有しながら山代町の元気なまちづくり計画を進めていくことが必要です。

◎まちづくり計画を進めるにあたって

- ・現状と課題の把握
- ・事業の目的（目標）
- ・目標を達成するための具体的な取り組み（活動内容）

- 1、すぐに取り組める
- 2、少し作戦を練ってから取り組む
- 3、じっくり時間をかけて取り組む

- みんなが楽しく交流できる場をもっとふやしたい
- 地域全体で子育ての環境をよくし子ども達に夢を与えたい
- 高齢者がいきいきと暮らせる地域にしたい
- 体育・スポーツを通して健康で明るい町にしたい
- 安全・安心な地域にしたい
- 自然を守り育てたい
- 地域の歴史や文化を生かしたい
- 地域の魅力を多くの人に知ってもらいたい
- 地域のリーダーや後継者を育てたい

元気なまちづくり計画（案）

事業部会名 [公民館活動部会]

事業名	地域力 ～ 地域がにぎわい活力あるまちづくり ～
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 山代町の文化祭・「山代まつり」では、みんなが楽しく参加し交流の場を広めたい。 ○ 自治公民館活動を活発にするためには、現状を把握し情報交換を深め具体的な取り組みについて検討する。 ○ 山代町の宝である伝統文化を継承、保存し残していく。 ○ 「やましろ塾」との連携を図る。
事業の目的 (目標)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域がにぎわい活力あるまちづくりを進めるためには、子どもから大人まで参加できるイベントや事業、活動内容を考え地域住民の連携や親睦を図ることを事業の目的とする。
目標を達成 するための 具体的な 取り組み (活動内容)	<p style="text-align: center;">継続しすぐに取り組める活動内容 (すぐに取り組める)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 山代町の文化祭である「山代まつり」の開催にあたっては、多くの住民が参加できるよう世代間の交流や行政区住民との交流、さらには企業との交流が図れる内容を盛り込み具体的な計画を進める。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども達が多く参加できる内容を工夫し検討する。 ・ 山代まつり実行委員会、自治公民館長会と連携を図り計画を進める。 <p style="text-align: center;">充実・発展させる活動内容 (少し作戦を練ってから取り組む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「わが町山代ふるさとガイドマップ」を作成し山代町の宝を発見する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ (山代町史編さん委員会)・「やましろ塾」との連携をはかり「ふるさとガイドマップ」の作成について具体的に取り組む。 ○ 活力あるまちづくり事業として門松を作り町内の公共施設等に寄贈する。 <p style="text-align: center;">平成26年度主なまちづくり事業計画と概算事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 山代町の文化祭「山代まつり」の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成26年11月16日(日) 9:00 山代公民館 ○ 山代ガイドマップの作成 ○ 活力あるまちづくり事業(門松づくり) <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業費 30,000円、指導者謝金 10,000円、印刷費 10,000円

元気なまちづくり計画（案）

事業部会名[地域活性化部会]

事業名	地域力 ～ 地域がにぎわい活力あるまちづくり ～
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ○山代町開発促進協議会・山代町西九州自動車道建設促進協議会では、町民が心を一つにして早期実現に向けて努力することが必要である。 ○ 山代町史～山代町の村むら～の出版を記念しまちづくりに取り組む。 ○ 「城山」の整備について検討を進める。
事業の目的 (目標)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 山代町の新しい時代を拓くためには、伊万里湾の利活用と西部地区の開発が重要であり、地元・市・県・国との連携を図り要望活動を積極的に進める。 ○ 山代町史～山代町の村むら～の出版記念事業を具体的に計画を進める。
目標を達成 するための 具体的な 取り組み (活動内容)	継続しすぐに取り組める活動内容 (すぐに取り組める)
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 山代町史～山代町の村むら～出版記念事業 <ul style="list-style-type: none"> ① 史跡探訪 IN 山代・・・10月5日(日)9:00～山代公民館 ② 山代町内の史跡(町の木・ナギの木・小島公園・飯盛神社等探訪) ○西九州自動車道(伊万里松浦道路)の供用開始に伴う「ウオーキング」大会の開催・平成27年2月・波瀬インターチェンジからスタート
	充実・発展させる活動内容 (少し作戦を練ってから取り組む)
	<ul style="list-style-type: none"> ○浦之崎埋立免許失効地(川南造船所跡)の問題については、タイミングを逃さず早期解決に向けて努力することが重要である。 ○西九州自動車道(伊万里松浦道路・山代～県境)の供用開始により、松浦市との協議により「ウオーキング大会」の開催を計画を進める。
	平成26年度主なまちづくり事業計画と概算事業費
	<ul style="list-style-type: none"> ○「山代町史～山代町の村むら～の出版記念事業」 <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年10月5日(日)・町内の史跡探訪 ・バス借上料 30,000円 ○西九州自動車道の供用開始に伴う「ウオーキング大会」の <ul style="list-style-type: none"> ・運営費 50,000円

元気なまちづくり計画（案）

事業部会名[体育・スポーツ部会]

事業名	元気力 ～ スポーツを通して明るく元気なまちづくり ～
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 少子高齢化に伴い、これまで各種団体で開催している大会や事業について見直しを検討する必要がある。（開催要項・ルール等の検討） ○ 町内で現在活動している、スポーツクラブ、スポーツ少年団、ジュニアスポーツクラブ等の活動の現状を把握し、各団体の指導者との情報交換を図り、今後の山代町のスポーツ活動の活性化に活かしていくことが必要である。
事業の目的 （目標）	<ul style="list-style-type: none"> ○ スポーツを通して、明るく元気なまちづくりを目指し、地域の活性化を図ることを目的とする。 ○ 各種団体との連携を図り、少子高齢化の時代に沿った事業を展開し、住民の融和と健康づくりに努める。
目標を達成 するための 具体的な 取り組み （活動内容）	継続しすぐに取り組める活動内容 （すぐに取り組める）
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 山代ジュニアスポーツクラブの育成と指導者養成研修会の開催 ① 平成 26 年 9 月～10 月にジュニアスポーツクラブ指導者養成講習会開催 ② 山代公民館研修室・講師・・・スポーツドクターや大塚製薬（株）スポーツ担当との連携を図り体育・スポーツの研修を深める。
	充実・発展させる活動内容 （少し作戦を練ってから取り組む）
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 町内で活動している各スポーツ団体（スポーツクラブ、ジュニアスポーツクラブ、スポーツ少年団等）を把握し、指導者や各団体代表との情報交換を行い、年間体育行事及び大会要項やオリンピック方式等今後山代町の体育・スポーツ行事等のあるべき姿について協議を深める。
	平成 26 年度主なまちづくり事業計画と概算事業費
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 山代ジュニアスポーツクラブ指導者研修会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ 講師謝金 30, 000 円 ・ チラシ印刷代 10,000 円

元気なまちづくり計画（案）

事業部会名 [青少年育成部会]

事業名	元気力 ～ 山代っ子がすくすく育つまちづくり ～
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 青少年育成部会に所属する団体を確認し、情報交換と共通理解を図る必要がある。 ○ 「通学合宿」・「チャレンジひろば」・「家読」（うちどく）の推進について取り組む。 ○ 子育て支援や食育（食改との連携）の取り組みについて検討を進める。
事業の目的 （目標）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「地域の子どもは地域で育てる」 地域・家庭・学校が連携し、地域の宝である子ども達を町民総ぐるみで、元気な山代っ子に育てる。 ○ 「山東チャレンジひろば」をさらに充実、発展させ親子で楽しく参加し、地域での居場所づくりと地域、家庭の絆を深める活動を推進する。
目標を達成 するための 具体的な 取り組み (活動内容)	継続しすぐに取り組める活動内容 （すぐに取り組める）
	<ul style="list-style-type: none"> (1) 「通学合宿」をさらに充実させ、子ども達に生きる基本を身につけさせるとともに地域力を高める。 (2) やましろ塾と連携を図り、三世代交流事業を開催し青少年の健全育成を図る。
具体的な 取り組み (活動内容)	充実・発展させる活動内容 （少し作戦を練ってから取り組む）
	<ul style="list-style-type: none"> (1) 「子育て支援」について、町内の保育園の保護者や各団体との話し合いを進めながら具体的に取り組む。 (2) 食生活改善推進協議会と連携を図り、食育の取り組みについて具体的に検討を進める。
	平成26年度主なまちづくり事業計画と概算事業費
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 共同宿泊体験学習（通学合宿）の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成26年9月25日（木）、26日（金）、27日（土）17:00～ ・ 各自治公民館で開催 ・ 指導者謝金 30,000円 ○ 「家読」の推進・・・年間を通して取り組む <ul style="list-style-type: none"> ・ 本の購入費 10,000円 ○ 三世代交流事業費・・・30,000円

元気なまちづくり計画（案）

事業部会名 [健康福祉部会]

事業名	住民力 ～ みんなで支え合う健康と福祉のまちづくり ～
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各団体（長寿会、婦人会、民児協）で、現在行われている活動を全て取り上げるのではなく、各団体の独自性や特色を生かした事業を計画する。 ○ 社会状況の変化などによる会員減少は、団体の事業が多すぎて役員への負担が増えているのも要因ではないか。
事業の目的 （目標）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 少子高齢化が進んでいる中、共に生き、お互い支え合い子どもから大人まで参加できる事情で地域の活性化を図ることを目的とする。 ○ 高齢社会となり、一人暮らしの老人への対応や楽しいひと時を過ごすことで元気がでる事業への取り組みを進める。
目標を達成 するための 具体的な 取り組み （活動内容）	継続しすぐに取り組める活動内容 （すぐに取り組める）
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ふれあい給食サービス活動」（手作り弁当一人暮らしへの配食）をさらに充実させる工夫をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 民児協、福祉活動員、婦人会との連携を図る。
	充実・発展させる活動内容 （少し作戦を練ってから取り組む）
	<ul style="list-style-type: none"> ○ だれもが参加できる三世代交流事業を開設し、多くの住民が触れ合える事業について計画を進める。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 一人暮らしの老人や三世代交流等の支援事業も取り入れる。
	平成26年度主なまちづくり事業計画と概算事業費
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 三世代交流「ふれあいサンデー」事業の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成26年11月9日（日）山代東小学校 ・ 指導者謝金 10,000円・会議費 5,000円・印刷費 5,000円 ・ 看板代 5,000円

元気なまちづくり計画（案）

事業部会名「安全・安心環境部会」

事業名	住民力 ～住民パワーで自然を生かした創意工夫と安全安心のまちづくり～
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「地域安全パトロール・交通安全パトロール・防犯、防災」それぞれ活動が独立しているため、共通点を見出し共同で実施できるものについて検討をする必要がある。 ○ 自然環境の保全については、塩生植物保存会・浦之崎駅桜保存会・山代西緑の少年団等の連携、泥だんご大作戦やチャレンジひろばとの連携を図り親子で楽しく参加できる環境体験教育に取り組む。
事業の目的 (目標)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 近年子ども達の安全を取り巻く環境は大きく変化し、いろいろな事件が後を絶たず憂慮すべき状況にあります。このような状況に対して、地域社会・学校・家庭が一体となって安全・安心のまちづくりに取り組むことを目的とする。 ○ 環境問題は、21世紀の課題でもありその課題解決に向けて努力することが私達に光と希望を与えてくれます。
目標を達成 するための 具体的な 取り組み (活動内容)	継続しすぐに取り組める活動内容 (すぐに取り組める)
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域安全パトロールをさらに充実発展させ地域総ぐるみで子ども達を見守り安全・安心のまちづくりに取り組む。 ○ 秋（9月）の交通安全キャンペーンの開催 ○ 泥だんご大作戦の推進・塩生植物の保存活動（伊万里農林高校との連携）の充実を図る。
	充実・発展させる活動内容 (少し作戦を練ってから取り組む)
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 安全・安心の生活環境を整えると共に、山代町のすばらしい自然環境を守り育てる工夫が必要である。 ○ 防犯・防災ネットワークの推進・・防災マップの作成（8月に完成） <ul style="list-style-type: none"> ・ 防犯灯設置必要箇所調査・・防犯灯の設置（行政への要望等） ・ 台風、大雨、風水害等緊急避難場所の看板設置（行政への要望等）
	平成26年度主なまちづくり事業計画と概算事業費
<ul style="list-style-type: none"> ○ 安全・安心生活環境づくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 秋の交通安全キャンペーン活動費 10,000円 ○ 自然環境保全活動事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 塩生植物保存活動費 10,000円 ・ 泥だんご大作戦活動費 5,000円 ・ 会議費 5,000円 	

山代町元気なまちづくり運営協議会の運営委員会組織

種別	役職	氏名
協議会役員	会長	松永 勝美
	副会長	古賀 豊
	副会長	渡部由美子
	幹事	石橋チヨノ
	幹事	木寺 仁史
	幹事	松永 孝三
	公民館活動部会長	西山 繁行
	地域活性化部会長	古賀 豊
	体育・スポーツ部会長	中嶋八重廣
	青少年育成部会長	金子 義弘
	健康・福祉部会長	角 芳徳
	安全・安心環境部会長	長松 均
	会計	金子 弘子
	監事	山口 康博
	監事	山口浩一郎
	事務局長	川田 宏
	事務局	古川 国宏
	事務局	吉永 直弘

山代町元気なまちづくり運営協議会の運営委員会組織

種別	役職	氏名
区長会	楠久津区長	吉崎 弘
	楠久区長	川久保博輔
	福川内区長	藤浦 正則
	城区長 (区長会副会長)	古賀 豊
	峰区長	山浦 好雄
	鳴石区長	永島 博
	久原一区区長 (区長会副会長)	金子 禎輔
	久原二区区長	貞方 美博
	久原三区区長	川久保好喜
	浦之崎区長	井手 一雄
	川南区長 (区長会会長)	松永 勝美
	向山区長	平石 嘉人
	立岩区長	岩永 雅弘
	西分区長	宮地 正好
	西大久保区長	前田國太郎
	野々頭区長	松永 健吉
東分区長	金子 汎佑	

山代町元気なまちづくり運営協議会の運営委員会組織

種別	役職	氏名
顧問	伊万里市議会議員	高木 久彦
	伊万里市議会議員	多久島 繁
	伊万里市議会議員	松永 孝三
住民公募代表	東分区	松永 真治
	久原一区	山本 礼子
	久原二区	弘川 貴紀

種別	役職	氏名
各事業部会	公民館活動部会 副部会長	吉武幾二郎
	地域活性化部会 副部会長	金子 禎輔
	体育・スポーツ部会 副部会長	山口 秀明
	青少年育成部会 副部会長	松永 真治
	健康・福祉部会 副部会長	福田 禮子
	安全・安心環境部会 副部会長	弘川 勝彦

平成26年度まちづくり計画
山代町地域支援市職員の各事業部会割当て

◎地域力・・・地域がにぎわうまちづくり

- 公民館活動部会・・・部会長 西山繁行・副部会長 吉武幾二郎
・前田 稔、白壁佳代子
- 地域活性化部会・・・部会長 古賀 豊・副部会長 金子禎輔
・山浦加代、山崎章弘

◎元気力・・・明るく元気なまちづくり

- 体育・スポーツ部会・・・部会長 中嶋八重廣・副部会長 山口秀明
・貞方聡郁、前田 稔

- 青少年育成部会・・・部会長 金子義弘・副部会長 松永真治
・川口幹夫 ・白壁佳代子

H26.6.4~

川口→土井

◎住民力・・・住民パワーで安全安心のまちづくり

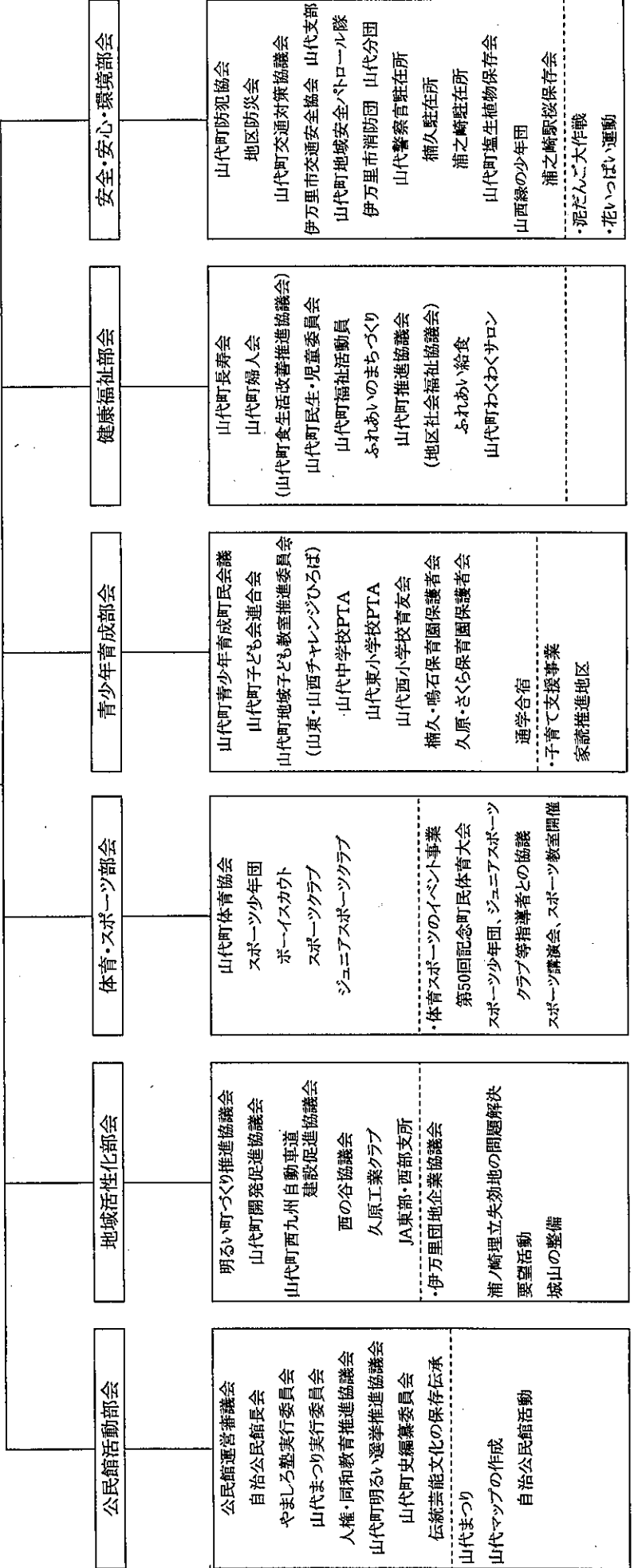
- 健康・福祉部会・・・部会長 角 芳徳・副部会長 福田禮子
・山浦加代、貞方聡郁

- 安全・安心環境部会・・・部会長 長松 均・副部会長 弘川勝彦
・川口幹夫、山崎章弘

山代町元気なまちづくり運営協議会の組織

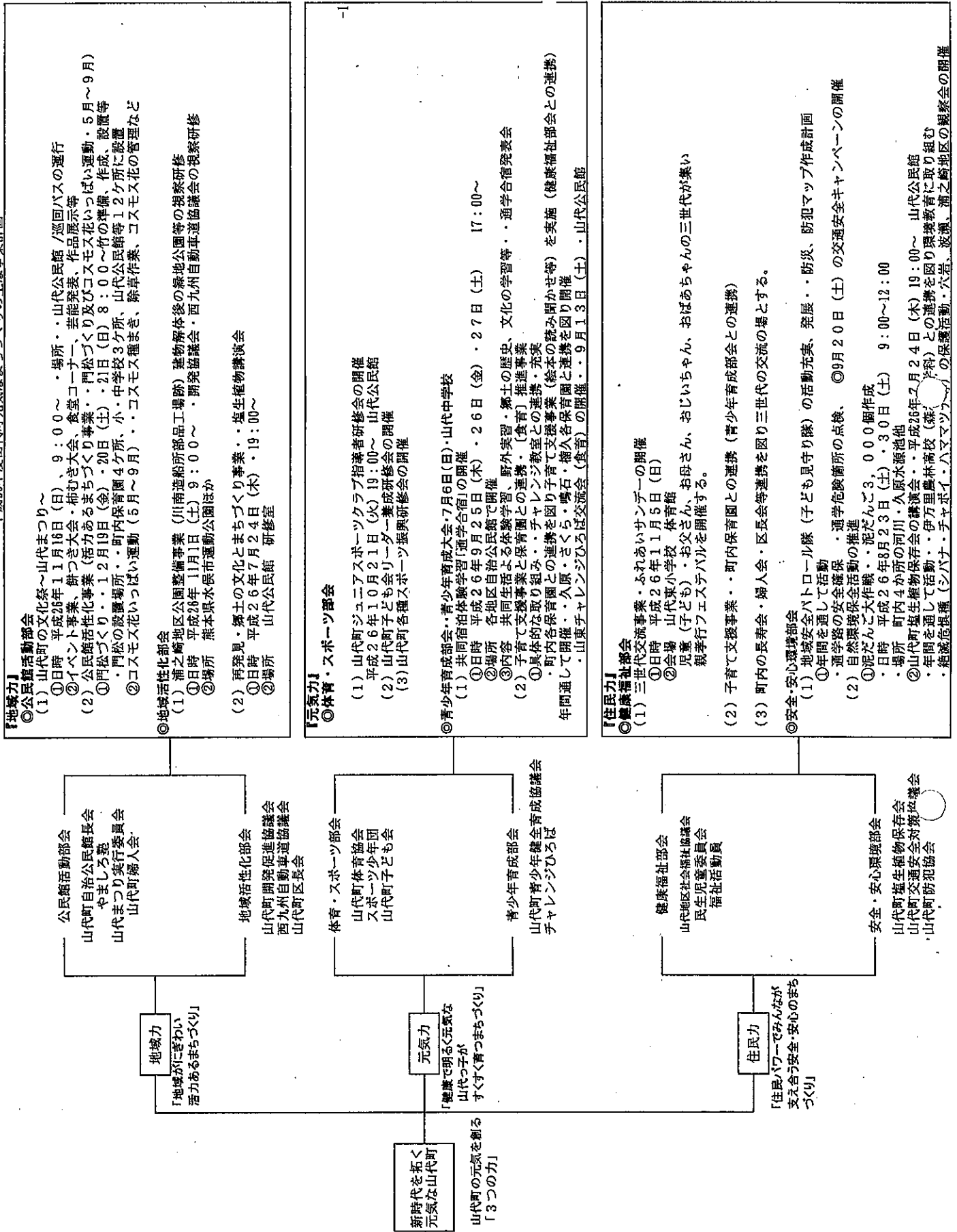


協議会役員・運営委員
 会長1名、副会長2名、顧問4名、区長17名、部長6名、幹事3名、会計1名、監事2名、住民代表3名、事務局長1名、事務局2名



山代町元気なまちづくり事業計画(案)

平成26年度山代町元気なまちづくりの主な事業計画



山代町元気なまちづくり運営協議会規約

(目的)

第1条 本会は、「山代町民憲章」の精神を持って、住民自らが地域の将来像を考え、その実現に向けて自ら行動することによって、町民が誇りと郷土愛を抱く住み良いまちを形成していくことを目的とする。

(名称)

第2条 本会は、山代町元気なまちづくり運営協議会(以下「協議会」という。)と称する。

(事務所の位置)

第3条 協議会の事務局を伊万里市山代町久原2697番地、山代公民館に置く。

(事業)

第4条 協議会は山代町まちづくり計画を策定するとともに第1条の目的を達成するために次に掲げる事業を行う。

- (1)地域住民相互の情報交換並びに交流・親睦に関する活動
- (2)地域活性化に関する活動
- (3)健康・福祉に関する活動
- (4)生活環境の保全に関する活動
- (5)地域の防災・防火及び防犯に関する活動
- (6)自治会活動との連携に関する活動
- (7)その他目的達成のために必要な活動

(組織)

第5条 協議会の会員は次に掲げるとおりとする。

- (1)山代町に居住する住民
- (2)山代町で活動する自治会、団体
- (3)山代町に所在する事業所
- (4)その他、会長が必要と認める者

(役員)

第6条 協議会に次の役員を置く。

会長 1名
副会長 2名
監事 2名
部会長 6名
幹事 3名
会計 1名
事務局長 1名 事務局 2名

- 2 会長、副会長及び監事並びに部会長は運営委員会において選出し、総会の承認を得る。
- 3 幹事、会計、事務局長・事務局は、会長が任命する。
- 4 部会長は他の役員を兼ねることができる。

(顧問)

第7条 協議会に顧問を置くことができる。

- (1) 顧問は協議会の運営全般に対し、意見を述べることができる。
- (2) 顧問は運営委員会で選出する。

(役員の仕事)

第8条 協議会の職務は次の通りとする。

- (1) 会長は、協議会を代表し、会務を総括する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代行する。
- (3) 幹事は、協議会の事務処理や世話役として運営上の折衝に当たる。
- (4) 会計は、協議会の会計事務を処理する。
- (5) 監事は、協議会の会計及び事業の執行状況を監査し総会に監査報告を行う。
- (6) 部会長は、部会を代表し会務を総括する。
- (7) 事務局長は、協議会事務を総括する。事務局は、事務局長を補佐する。

(役員の仕事)

第9条 役員の仕事は2年とする。ただし、再任は妨げない。

- 2 補欠により選出された役員の仕事は、前任者の残任期間とする。

(会議)

第10条 協議会の会議は、総会、運営委員会及び事業部会とする。

- 2 協議会の会議等は、すべて公開を原則とし、事業計画、事業報告、予算及び決算についても広く地域住民に周知するものとする。

(総会)

第11条 総会は運営委員会及び事業部会委員をもって構成する。

2 総会は、毎年1回、定期総会を開催するほか、会長が必要と認めた場合、または、委員の3分の1以上の請求があった場合は、臨時総会を開催することが出来る。

3 総会は会長が招集しその議長となる。

4 総会は次の事項を決定する。

(1)まちづくり計画

(2)会長、副会長、監事、部会長の選出の任命承認

(3)協議会の事業計画、予算、決算に関すること

(4)その他、重要事項に関すること

(運営委員会)

第12条 運営委員会は協議会役員、顧問、区長及び公募住民代表により構成する。

2 運営委員会は、総会に諮るべき事項及び協議会の運営に関する事項を審議決定する。

3 運営委員会は、会長が招集する。

4 会長は運営委員会の議長となる。

5 会長は、必要があると認めるときは、委員以外のものを出席させ、意見を求めることが出来る。

(役員会)

第13条 役員会は、運営委員会役員により構成する。

役員会は、運営委員会に提案する事項等について検討を行う。

(事業部会)

第14条 総会及び運営委員会で決定された方針に基づき施策を実施するため、協議会に事業部会を置く。

2 事業部会に次の部会を置く。

(1)公民館活動部会

(2)地域活性化部会

(3)体育スポーツ部会

(4)青少年育成部会

(5)健康福祉部会

(6)安全安心環境部会

- 3 部会に所属する団体は、部会を構成する団体の意見等を踏まえ、運営委員会で承認する。
- 4 部会には、部会長及び副部会長を置く。
- 5 部会長は運営委員会で選出し、副部会長は、部会員の中から選出する。
- 6 部会長は部会を代表し会務を総括する。
- 7 副部会長は、部会長を補佐し、部会長が事故あるときは、その職務を代行する。
- 8 部会長は、必要があると認めるときは、部会員以外の者を出席させ、意見を求めることが出来る。

(会計)

- 第15条 協議会の運営等に関する経費は、交付金、補助金、委託料及びその他の収入をもって充てる。
- 2 協議会の会計年度は、毎年4月1日から翌年の3月31日までとする。

(その他)

- 第16条 この規約に定めるもののほか、協議会の運営に関し、必要な事項は会長が運営委員会に図り、別に定める。

附則

この規約は、平成 20 年 10 月 20 日から施行する。

町民憲章

わたしたちの町山代町は、父なる国見山地と母なる伊万里湾に抱かれ、先人たちのたゆまぬ努力によつて発展してきました

わたしたちは、このふるさとをこよなく愛し、さらに住みよい町づくりを進めるために、ここに町民憲章を定めます

- 一、 わたしたちは、恵まれた自然を守り、豊かな町づくりに努めます
- 一、 わたしたちは、勤労を尊び、活気のある町づくりに努めます
- 一、 わたしたちは、老人を敬い、子どもの學を育て、明るく町づくりに努めます
- 一、 わたしたちは、健康と教養を高め、ゆとりのある町づくりに努めます
- 一、 わたしたちは、隣人愛を育て、安全で安心な町づくりに努めます

